

報 ずずらの里

2008年 9月号 No. 90

発行者

〒869 - 5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームずずらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

二年ぶりのビール

☆/ピアガーデン☆

まだまだ残暑厳しい八月二十七日（水）、涼を楽しんで頂こうと一日ピアガーデンを行いました。
まず始めに、男性職員による踊り「星空の秋子」が披露され、皆さんうっとりとした表情で拍手をされていました。



熱唱される岩本カツ子さん（77）

次に、カラオケに参加された利用者は、歌手になりきり笑顔で歌われ、ホールは一気に盛り上がり、皆さんから大きな歓声を送られていました。
夕食時になるとホールはピアホールに早変わりし、ビールはもちろんバイキングによるご馳走が並べられ、普段とはちょっと違った食事にいつもより食が進まれる方もたくさんおられました。

一階入所者の大木交七さん（88）は、ビールを片手に「うまかー」と、他の方と何度も乾杯されていました。

最高齢百二歳の中島ミツエさんは「今日は飲むよー」と二年ぶりのビールに舌鼓をうたれていました。



久しぶりのビールと焼き鳥を食べられる中島ミツエさん

涼しさと共に、皆さん満腹でほろ酔い気分になったピアガーデンとなりました。

介護職員 大岩由梨

おどろん
キャブリー
施設探訪

施設北東側に建立してある水神様を紹介いたします。

水神様は昔から豊作祈願や水難に遭わないように祀られてきました。ずずらの里でも多くの水を使用して、水に対する感謝と、災害から守ってもらうため、平成十七年五月に建立されました。

介護職員 小川雄二

水神様の場所



<施設一階平面図>

大岩由梨さん

今月は、市川シツエさん(80)を紹介いたします。

市川さんは、とても元気です。声に張りがあり、軽快なリズムで歌われ、周りを和ませてくれます。



また、声をかけると「そぎゃんだもんなー」などと優しい口調で返答をされ、職員も笑顔で介護をすることが出来ます。これからも、その活力を失う事無く元気で長生きしてくださいね。

介護職員 大岩由梨

栄養満点



先日栄養部で「高齢者の身体状況に応じた食事提供のあり方とは」をテーマに施設内研修を行いました。

今回は高齢者の身体状況を疑似体験し、今後の食事サービスをより高める事が研修の目的です。

研修では3グループに分かれ少しでも高齢者の

身体状況に近づくために、軍手をはめ、ゴーグルをかけて視界を狭くし、箸やスプーンを使い食事を体験しました。参加した職員からは「一動作をするだけでも大変だ」「片麻痺の状況では食事に時間がかかる、利用者がゆっくり食べる環境づくりも大切だ」など実際に体験したことで利用者の立場になって「食事」を考えるよい機会となりました。



今後、この貴重な体験を活かし、皆さんが安心して美味しく食事を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

管理栄養士 江上まどか

祝 おめでとうございます

～9月の誕生者～

萱嶋 敦子様

(T 1.9.8 96歳)

上村 茂様

(T 5.9.22 92歳)

園原 美保枝様

(T15.9.21 82歳)

私は誰でしょう？



* 5歳頃の写真です

ヒント；私は、1階で働いている女性介護職員です。

若い職員に負けないくらいの元気と明るさの持ち主と評判です。

若い頃から、活発で身体を動かすことが好きで、スポーツだけでなく踊りもやっていました。

広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。

* 7月号の正解は、
垣原勝美さんでした。

